今年を飛躍の年に

ラストワンマイルで素晴らしい商品をユーザーに

金澤　利治

新年明けましておめでとうございます。

平素は大阪文具事務用品協同組合の運営にひとかたならぬご支援を賜りまして誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。新春にあたりひとこと御挨拶申し上げます。

昨年はようやくコロナ禍の影響が終息に向かいつつありますが、いまだロシアによる軍事侵攻、また中東情勢の影響により引き続き日本経済が大きく影響を受けた1年となりました。またアメリカ大統領選挙の影響もあり、中央銀行FRBの利上げ政策により円安が続き、日本だけでなく全世界での影響も計り知れず、いまだ不安定要素から世界経済に大きく影響が出ております。

GDPも伸び悩み、おそらく各分野で値上げの対応が最終値付け転嫁の部分にまで、まだまだ浸透していない状況のようです、我々小売業全般では、非常に厳しい市場感は否めません。また円安による影響も相まって原材料、物流コストの上昇、半導体の世界的な品不足の影響で、我々の業界も今年1年は度重なる値上げに加え、品切れ、生産停止、入荷未定と引き続き大きく影響を受けた1年でございました。

今年も一部メーカーは昨年末に引き続き　新年度カタログより、お客様に対して取り扱う商品の値上げのご案内を申し上げていく厳しいスタートとなりました。また賃上げの影響による人件費高騰の影響を受け、配送、物流面でのコストアップも順次発表されております。いわゆるネット販売の部分では一部好調な分野もございますが、物量に対して配送が追い付かず、お客様にご迷惑おかけするなど、コロナの影響もあり、我々オフィスワーカーの働き方に大きな変化と影響をもたらしました。郵便料金の値上げも拍車をかける形となりました。

昨年2024年の世相を表す漢字は「金」でございました。12月12日の「漢字の日」に1年を振り返り、漢字一字に込められた奥深い意義を再認識する機会を持つことを目的に始まり今年で30回目だそうです。

「金」が選ばれたのは、2021年以来5回目です。「金」の字が選ばれた理由について、パリオリンピックやパラリンピックに出場したアスリートが数多くの金メダルを獲得したほか、大谷翔平選手が3回目のMVPを獲得するなど、値千「金」の活躍だったほか、「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録されたことなど、光をあらわす「金（キン）」と、政治の裏金問題や金目当ての闇バイト強盗事件、止まらない物価高騰など、影をあらわす「金（かね）」の2つの意味を示しているということです。

平成から令和の時代となり、その中で私ども大阪文具事務用品協同組合は、昭和から平成の時代を乗り越えた経験を踏まえ、お客様に一番近い立ち位置であることを銘肝し、「ラストワンマイル」お客様のために、また業界発展のために、ユーザー様並びに消費者の皆様に「安心して信頼できる商品とサービス」をご提供して、我々の業界の素晴らしい商品をユーザー様に購入して頂く必要があると考えております。

昨年10月には「ぶんぐ博2024」を開催させて頂きました。会場費の値上げ、また会場設営にかかる費用の値上げにより、従来に比べて充分な宣伝広告もできず、従来に比べて盛大には開催できなかったものの、やはり年1回、直接ユーザー様に接してフェアを行うことが重要であることをあらためて認識いたしました。

アフターコロナにおける国内の企業及び人の動きの変化は、私共の業界にも大きな影響をもたらしました。昨年度は、ほとんどの仕入れ先様の見本市、フェアが通常開催に戻りました。加えてメーカー各社は新商品、新サービスを続々と発表しておられます。また急に売れなくなった商品、逆に急に売り上げが伸びた商品、新たに取り扱いが増えた商品、新たな商品分野の取扱いも多くなりました。コロナ禍の販売実績をもとに、新たな気付きも多く見られたと存じます。この変化や発見を見落とすことなく、ユーザーの皆様に今、一番必要とされている商品、サービスを的確にお届けすることが、業界皆様の想いを直接ユーザー様にお届けする「ラストワンマイル」最適の立ち位置として、また大阪文具事務用品協同組合「チームぶんきょう」の立ち位置であると自負しております。

引き続き大阪文協だけにとどまらず神戸文協、京都文協の皆様と関西の組合活動の輪を広げ、また製・販・卸すべての業界の皆様と「チームぶんきょう」の名のもとに、このコロナ禍の状況を共有し、これからも取り組んでまいります。引き続き皆様のより一層のご理解とご協力を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

新しい年が、また令和の時代が皆様にとりましてコロナに打ち勝ち、希望に満ちた飛躍の年になりますよう心からお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせて頂きます。【大阪文具事務用品協同組合理事長、金澤英株式会社社長】

世界一の表現革新カンパニー目指し

数原　滋彦

2025年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は格別のご愛顧、お引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

昨年からの世の中の動向を振り返ってみますと、国内では企業収益改善への動きを背景に、雇用・所得環境の緩やかな回復基調が見込まれる一方で、海外に目を転じると、不安定な国際情勢から原材料やエネルギー価格の高止まり様相に加え、米国や欧州におけるインフレ環境下での金融政策が世界経済に与える影響への懸念から、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

業界においては、国内市場に限定されず多くの先進諸国が直面する少子高齢化や人口減少といった構造的問題に加え、デジタル化の急速な進展が相まって、事務用品としての筆記具の需要は縮小傾向が続いています。他方、ライフスタイルや価値観の多様化、そしてサステナビリティが共通価値として浸透したことで、お客様が商品に求める価値基準が変化しています。

また、ECの普及が市場のボーダレス化を加速させたことで、購買シーンでより多様な選択肢が提供されるなか、購買行動そのものも変容しつつあります。こうした動きは、お客様が筆記具に求める価値や期待に新たな方向性をもたらしています。

そうした状況において多くの課題と機会が交錯するなか、持続的な成長を目指すためには、私たち一人ひとりが未来を見据えて前向きに取り組むことが不可欠であり、お客様に対して新たな価値をお届けする努力を重ねるとともに、時として業界を取り巻く共通課題には協調して対応することで、より良い社会の実現に貢献していきたいと考えています。

このような環境の中、当社グループは「生まれながらにすべての人がユニークである」という信念に基づき、「書く、描く（かく、えがく）」ことを通じて、お客様一人ひとりが持つ個性や才能を解き放つこと、そしてこういった〝表現体験そのもの〟を創造していくことがお客様への提供価値ととらえ、活動してまいりました。

昨年の主な活動として、表現体験をご提供する場として当社初の体験型空間「o—i STUDIO（オーイスタジオ）」を開設するとともに、オフィシャルパートナー契約を締結している一般社団法人障がい者自立推進機構と「自分らしさを描く」をテーマに第3回アートコンテストを開催いたしました。さらに、自己表現領域に特化した活動等を支援することを目的として一般財団法人「表現革新振興財団」を設立し、活動を開始いたしました。

商品戦略に基づくものとして、「ジェットストリーム」シリーズの長期的な視点におけるさらなる定着化を目的として、より〝かろやか〟な書き心地の「JETSTREAM Lite touch ink」シリーズを発売しました。また、「クルトガ」シリーズにおけるさらなる提供価値の拡大を目指し、メインターゲットである学生のニーズの変化を踏まえて「KURUTOGA Metal」を発売しました。

加えて、新たにドイツを拠点とするc. Josef Lamy GmbHを当社グループに迎え、筆記具事業のさらなるグローバル化に向けた取り組みを継続してまいりました。

新たに迎える1年においても、創業150年にあたる2036年に向けた、ありたい姿2036（長期ビジョン）である「世界一の表現革新カンパニー」の実現を目指し、世界中のお客様から信頼と高い評価を頂けるよう、グループ一体となって「書く、描く」という表現体験を通じた価値をご提供してまいる所存です。

本年も、より一層のご指導ご鞭撻をお願いいたしますとともに、皆様のご多幸をお祈り申し上げまして新年の挨拶とさせていただきます。【三菱鉛筆株式会社社長】

日本製紙株式会社
関西営業支社
支社長　松本 勝次
〒530-0055 大阪市北区野崎町５－９
読売大阪ビル
TEL 06(6363)7181　FAX 06(6363)7155

LINTEC リンテック株式会社
執行役員　大阪支店長　木村　慶太
大阪支店　〒550-0013 大阪市西区新町１－４－２４
大阪四ツ橋新町ビル５階
TEL 06(6539)3888　FAX 06(6539)3850

GPI ゼネラル・パッケージング・インダストリー レンゴー株式会社
取締役 兼 副社長執行役員　井上　貞登士
本　社　〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7
中之島セントラルタワー
TEL 06(6223)2371㈹　FAX 06(4706)9909

王子製紙株式会社
関西営業支社
支社長　渡辺善雄
〒660-8577 兵庫県尼崎市常光寺４－３－１
TEL 06(4950)7525㈹　FAX 06(4950)8029